

前回定例会以降の行政の動き

平成 28 年 2 月 3 日
新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全管理に関する技術委員会

1 月 21 日、福島事故検証課題別ディスカッション 2～4 を開催しました。1 号機の非常用復水器(IC)操作、3 号機の注水系統切替えについて議論を行いました。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356773830256.html>

2 その他

1月16日：報道発表【【北朝鮮核実験対応 最終報】 大気中のチリから人工放射性物質は検出されませんでした (1/16 11:00更新)】

1月21日：課題別ディスカッション 2～4 を開催

1月25日：報道発表 [東京電力 (株) から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました]

平成28年1月16日
防災局放射能対策課

～北朝鮮核実験による放射能対応（第12報・最終報）～
大気中のチリから人工放射性物質は検出されませんでした。

1月14日午前9時頃から1月15日午前9時頃までに県内7箇所(※)で採取した全ての大気中のチリ(大気浮遊じん)からは、人工放射性物質は検出されませんでした。測定結果は、別紙のとおりです。

(※)新潟市、新発田市、燕市、長岡市、南魚沼市、上越市、佐渡市

これまでの大気中のチリ及びモニタリングポストの測定結果において、核実験による異常値は確認されませんでした。

また、原子力規制庁から、昨日1月15日をもって、北朝鮮の核実験対応として実施していたモニタリングを通常に戻すとの連絡がありました。

これらの状況を踏まえ、県では、北朝鮮の核実験の実施を受けて行ってきた県内7カ所の大気中のチリの放射能測定及び公表を本第12報をもって終了し、今後は、県内1ヶ所(新潟市)で測定を行います。

モニタリングポストによる空間線量率の測定結果など、県が監視している測定結果で、異常があった場合は速やかに公表します。

【大気浮遊じん】

○新潟県防災ポータル 北朝鮮核実験関連

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/3063/index.html>

【空間放射線量率】

○新潟県 放射線モニタリング結果

<http://housyasenkanshi.niigata.jp>

本件についてのお問い合わせ先
放射能対策課長 涌井
(内線) 6460
(直通) 025-282-1693

お知らせ

大気中のチリに含まれる放射能の測定状況

防災局放射能対策課

平成28年1月16日11時

- 1 採取期間 1月14日午前9時頃 ～ 1月15日午前9時頃（約24時間）
- 2 検査方法 県内7箇所では採取した大気中のチリを、県放射線監視センターで測定しました。
- 3 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m ³)
新潟市西区曾和（放射線監視センター新潟分室）	検出されず
新潟市中央町（大気汚染測定局）	検出されず
燕市白山町（大気汚染測定局）	検出されず
長岡市幸町（長岡工業高校）	検出されず
南魚沼市六日町（大気汚染測定局）	検出されず
上越市大字黒井（大気汚染測定局）	検出されず
佐渡市相川二町目（佐渡地域振興局）	検出されず

【検出下限値：約0.0001Bq/m³（セシウム137）】

【測定値の単位について】

- ・ Bq（ベクレル）とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子核が崩壊し、放射線を放出します。

福島事故検証課題別ディスカッション
海水注入等の重大事項の意思決定（第6回）
東京電力の事故対応マネジメント（第6回）
メルトダウン等の情報発信の在り方（第7回）

日時 平成28年1月21日(木) 13:30～16:30

場所 新潟県自治会館別館3階 第一研修室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション

- テーマ
- (1) 1号機非常用復水器(IC)の操作
 - (2) 3号機注水系統の切替
 - (3) 問題のあった報道発表等
 - (4) メルトダウンの公表

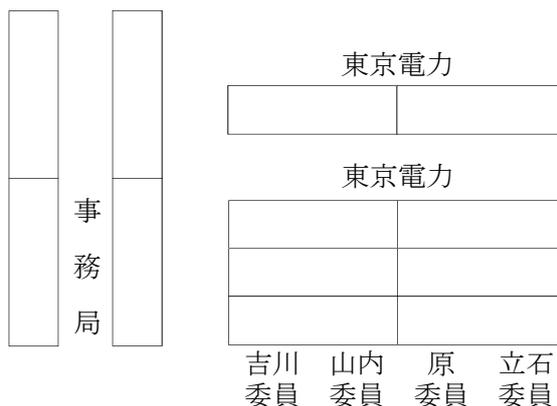
(3)～(4)は、時間の都合により議論せず

- 4 閉会挨拶

出席者

区分	職名	氏名
委員 コア メンバー	新潟大学名誉教授	立石 雅昭
	新潟工科大学副学長	原 利昭
	多摩大学情報社会学研究所教授	山内 康英
	京都大学名誉教授	吉川 榮和
東京 電力	原子力運営管理部長	五十嵐 信二
	原子力改革ユニット原子力改革特別タスクフォース事務局長代理	松本 純一
	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター所長	宮田 浩一

座席表



東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

本日、県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

1 今回の受領額

786,564円（平成28年1月25日受領）

※平成26年度発生経費（流域下水道事業特別会計）

2 受領額の内容

汚泥の検査費用

3 その他
(1) 請求及び受領の状況

（単位：円）

発生年度	請求日	区分	請求額	今回受領額	受領額累計	備考
H22・23	①H24. 12. 26 ②H25. 3. 29	一般会計	364,653,719	-	300,569,025	
	①H24. 12. 26 ②H25. 3. 29	工業用水道	391,587,383	-	382,814,716	
	H24. 12. 26	流域下水道	5,073,703	-	5,073,703	
		小計	761,314,805	-	688,457,444	
H24	①H25. 12. 3 ②H26. 9. 18	一般会計	275,570,716	-	165,539,131	
	H25. 10. 24	工業用水道	580,922,144	-	579,960,603	
	H25. 10. 24	流域下水道	1,139,775	-	1,139,775	
		小計	857,632,635	-	746,639,509	
H25	①H26. 9. 18 ②H27. 10. 21	一般会計	253,094,870	-	16,239,200	
	H26. 9. 18	工業用水道	239,161,758	-	237,649,716	
	H26. 9. 18	流域下水道	844,410	-	844,410	
		小計	493,101,038	-	254,733,326	
H26	H27. 10. 21	一般会計	237,806,660	-	-	
	H27. 10. 21	工業用水道	107,676,748	-	-	
	H27. 10. 21	流域下水道	786,564	786,564	786,564	
		小計	346,269,972	786,564	786,564	
		合 計	2,458,318,450	786,564	1,690,616,843	

(2) 今後費用の発生等が確認できたものについて順次請求します。

本件についてのお問い合わせ先

- 請求全般について 放射能対策課 企画調整係長 石川
(内線) 6462 (直通) 025-282-1698
- 下水道について 下水道課長補佐 高橋
(内線) 3350 (直通) 025-280-5858